

西多摩医師会報

1987年5月1日

173号

発行所・社団法人 **西多摩医師会** 東京都青梅市西分3-103
編集委員・石井 好明 井村 進一 TEL.(0428)23-2171(代)
栗原 琢磨 小林 杏一
道又 正達 村山 正昭 渡辺 良友

昭和61年度定時総会開催

昭和62年3月24(火)PM7:30分より昭和61年度定時総会が開催された。足立総務部長の司会、後藤議長の議事進行にて開会宣言、資格審査、物故会員に対しての黙禱の後、西村会長より開会挨拶があり、報告事項として各部部长より事業報告があった。

総務部の内、医政連関係のものを削除した、61年度各部事業報告は、出席会員の多数をもって了承が得られた。議決事項は第1号議案、昭和61年度収支補正予算につき承認を求める件は原案通り承認されたが、第2号議案、昭和62年度事業計画案につき承認を求める件は公衆衛生部よりの計画のうち、「会員の理

解が得られ次第、学校医部と協同で学童の脂質検査を実施する」の部分を除き総ての部の事業計画が承認された。

第3号議案、昭和62年度収支予算案につき承認を求める件も原案通り承認された。

その後、東京都医師会代議員、同予備代議員選挙が行われ、以下の先生が当選した。

東京都医師会代議員 瀬戸岡 進先生
同 西村 邦康先生
東京都医師会予備代議員 大塚 渉先生
同 松原 貞一先生

最後に大塚副会長の閉会挨拶にて昭和61年度定時総会は閉会した。

昭和61年度西多摩医師政治連盟総会開催

ひき続き山田議長の進行にて西多摩医師政治連盟総会の開催された。報告事項としての昭和61年度事業報告は前記総会での総務部報告にて既に報告した承を得ており、議決事項としての医政連会費値上げ及び徴収方法についての討議がなされた。

現行の西多摩医政連、西多摩支部、日本医師連盟の三連盟としての徴収総額の値上げとしての2案が提示されたが、案2として提示された142会員一律3万円納入の「西多摩医政連」方式が賛成多数で承認されたが、

「会費徴収機関としての西多摩医政連については、その性格を明確にするべく充分討議をする。そのうえで第2案の形で徴収するよう具体的な詰めを行い、後日会員に諮る。会費納入の方法についても、検討する。」

との一項が加えられ松原副会長の閉会挨拶にて医政連総会は閉会した。

(渡辺記)

理事会報告

4月8日(水) PM7:30

西村会長入院の為欠席

1 報告事項

(1) 都医地区医師会長協議会報告 (大塚副会長)

- ① 代議員会について(第186回)
② AIDS問題について

Table with 4 columns: Category, Male, Female, Total. Rows include Male Homosexuality, Cross-gender contact, Blood Friends, and Summary.

()は 外国人

③ 精神科通院医療中断者保健サービス事業の実施について(以下の原案あり)

③ 精神科通院医療中断者保健サービス事業実施要領(案)

1. 目的

通院医療中断者保健サービス事業は、通院医療を持続する必要があるにもかかわらず、定期的な受診・服薬を行うことができない精神障害者(以下「医療中断者」という。)による訪問指導を実施することにより、在宅医療の一層の推進を図ることを目的とする。

問指導の依頼を受けた保健所とする。

2. 実施保健所

医療機関から「医療中断者」に対する訪

3. 訪問指導対象者

本事業の対象者は、次の要件に該当する者とする。

- (1) 医療機関において、訪問指導を要すると認めた「医療中断者」であること。
(2) 当該医療機関から職員を派遣することが困難な者であること。
(3) 当該医療機関により、保健婦等の訪問について「医療中断者」又はその家族等の了解が得られた者であること。

(2) その他

箱根ヶ崎保育園 大 嶽先生

① 成人病セミナー開催

4/26(火) PM1:00

青梅税務所にて

講師 米山先生

② 保育園嘱託医推薦依頼について

青梅保育園 大河原先生

霞 保育園 土 田先生

福生保育園 山 口先生

熊川保育園 渡 辺先生

— 承認 —

2 協議事項

(1) 4月・5月の日程について

決定しだい医師会日誌に掲載します

(2) 生涯教育委員会発足について

(大塚副会長)

塩沢先生を委員長に推薦 — 承認 —

(3) 中村先生より、理事会に対して提言あり、次回理事会にて検討

青梅市健康センター人間ドック報告(第2報)

11. 受診者の職業は表13の如くで、中小企業従事者と主婦が中心の人間ドックであった。キャンセル率は、男性4%に対して女性15%と大差があった。勤務を休んで受診する

人は、予定を変更しにくいと、キャンセルすることが少ないのだろうか。女性には、予定外のことが起り易いのだろうか。

12. 近年問題になっている花粉症は13%に見られたが、表14の如く、すべての年代で男性より女性の方が多く、若年者ほど多かった。又、表15の如く、昭和39年以前に花粉症になったという人は極めて少なく、昭和50年から急増し、55年以後、更に増加した。(昭和38年に日本でスギ花粉症が発見され、翌年、学会に報告され、スギ花粉症の原因となるIgE抗体の保有率は、昭和48年から10年間に4倍に増加したという。)

13. 嘗て、盛に行なわれた虫垂切除については、受診者の21%が手術されていたが、表16の如く、急性・慢性何れも女性の方が多く、表17の如く、手術された年代は、昭和30年代が最も多かった。

近年、軽症虫垂炎は姑息治療が原則となり、青梅市立総合病院外科でも、昭和40年代後半から、軽症虫垂炎は(従って慢性虫垂炎も)手術しない方針を採っており、昭和36年には284例に達した虫垂炎手術が著明に減少し、昭和51年以後、慢性虫垂炎手術は殆んどなくなり、最近5年間の平均は67例、と嘗ての4分の1乃至3分の1に減っている(最少記録は、昭和51年の50例)。重症の割合も、30%前後だったのが、80%以上となった。以前は女性の方が多かったが、最近では男性の方が多くなっている。女性に軽症が多いという傾向はつづいているが、今も昔も、女性の方が重症と誤診しやすいということであろうか。

肺X線所見は表18の如く、陳旧性陰影は22%、要精検は9%であった。日本病院会の臨床予防医学委員会の人間ドック・自動化健診全国成績総合計(以下「全国成績」と略称)によれば、昭和59年413,748例の4%が呼吸器疾患と診断されている。

15. 眼底カメラによるKeith-Wagener分類成績は表19の如くで、動脈硬化は男女とも50才以後に目立ち始め、年齢が進むほど多くなり、KW-II以上の方は、全体の10%(KW-IVはなかった。)であった。昭和61

年度青梅市成人及び老人健康診査集計(以下「青梅市健診」と略称)で、動脈硬化ありと判定された人は、1,462名中5%であった。

16. 変動する血圧を1回測っただけで高血圧症を云々することはできないし、降圧剤服用中の人もあるので、実態の把握は困難であるが、表20の如く、最高血圧上昇者は11%(年齢が高いほど多い)、最低血圧上昇者は6%(年齢的傾向は前者ほど明らかでない)に見られた。「全国成績」では高血圧は12%、昭和60年度青梅保健所ミニドック(以下「保健所ミニドック」と略称)では、354名中高血圧は8%、高血圧境界は3%であったが、「青梅市健診」で高血圧と診断された人は33%であった。

17. 心電図異常者は表21の如く、年齢が進むほど高率になる傾向が見られ、平均は9%であった。「全国成績」でも8%、「保健所ミニドック」では14%が心電図異常と判定され、「青梅市健診」で心疾患と診断された率は10%であった。

18. 腎臓関係の検査所見は表22の如く、尿蛋白陽性者(土を含む)は11%、尿潜血陽性者(土を除外)は8%であったが、尿沈渣で赤血球が毎視野11ヶ以上見られた人は2%、血中尿素窒素上昇者(21mg/dl以上)も4%で、血清クレアチニン上昇者(1.6mg/dl)以上は全体で2名のみであった。

尿蛋白のみ、或は尿潜血のみ陽性の場合には、総合判定BF(僅かな異常で経過観察を要する)と判定したところ、腎臓総合判定は表23の如く、A(正常)85%、BF8%、G(精査を要する)7%となった。

「全国成績」で腎臓膀胱疾患と診断された人は8%、「保健所ミニドック」では、尿蛋白陽性者は1%、「青梅市健診」で腎疾患と診断された人は3%であった。

19. 上部消化管レントゲン検査成績は表24の如く、食道要精検は1%、胃要精検は16%、

(4)

十二指腸要精検は4%であった。「全国成績」で胃・十二指腸潰瘍と診断された人は9%であり、昭和61年度青梅市胃集検では、35才以上の1,283名中、12%が要精検と判定された。

尚、十二指腸憩室は、1980年刊の新内科学大系には、加齢と共に増加し、特に50才代から急増し、わが国では6%以上に見られ、やや女性に多いが、一般に男女差はないと記載されているが、私どもの成績は、表24の如く、平均8%に見られ、加齢と共に増加し、女性の方が多かった。

20. 肝機能検査成績は表25の如く、 $Al-P$ 上昇者は3%、 LDH 上昇者は16%、 GOT 上昇者は2%、 GPT 上昇者は4%と、 LDH 上昇者の頻度が他より高いことが目立った。

肝機能総合判定成績は表26の如く、A(正常)は73%、B(僅かな異常)は6%、G(精査を要する)は21%に見られた。「全国成績」で肝機能障害と判定された人は12%、「保健所ミニドック」で肝機能異常と判定された人は4%、「青梅市健診」で肝疾患と診断された人は2%であった。

21. 血液学的検査では、赤血球減少者(男性400万未満、女性350万未満)はなかったが、表27の如く、ヘモグロビン低下者は3%、ヘマトクリット低下は2%に見られ、何れも女性に多かった。又、表28の如く $M C V$ (平均赤血球容積)減少者は20%、 $M C H$ (平均赤血球色素量)減少者は11%、 $M C H C$ (平均赤血球色素濃度)低下者は6%に見られ、すべて女性の方が多かった。一方、白血球減少者は9%、増加者は4%に見られたが、性差はなかった。尚、血小板11万以下の人は3名のみであった。

「全国成績」では7%、「青梅市健診」では16%に血液疾患が見られ、「保健所ミニドック」では、貧血者を8%に認めている。

22. 生化学検査では、表29の如く、高尿酸血は2%、高コレステロール血は18%、高中

性脂肪血も18%に見られた。一方、血清総蛋白濃度は全員 6.3 mg/dl 以上であり、A、G比も全員1.1以上であった。

「全国成績」では、高尿酸血は2%、高脂血は13%、「保健所ミニドック」では、高尿酸血は5%、高コレステロール血(241 mg/dl 以上)は13%、高中性脂肪血(170 mg/dl 以上)は12%、血清蛋白濃度低下者(6.4 mg/dl 以下)は3%に見られた。

23. ABO式血凝型のA:O:B:ABの比率は日本人では4:3:2:1と言われている通り、受診者の血液型の分布は表30の如く、43:29:20:8であり、Rh式血液型では、日本人はRhマイナスは0.6%と言われている通り、表31の如く、受診者の0.6%がRhマイナスであった。受診者の血液型分布は、日本人の基準通りであったということになる。

24. 血清学的検査は表32の如く、RAテスト陽性が15%、CRP陽性が7%に見られたが、性別、年齢別の傾向は明らかでなく、原疾患が不明の場合が多かった。血清梅毒反応陽性者は、男性5名、女性1名のみであった。「全国成績」では、血清梅毒反応陽性とリウマチ疾患が合わせて2%と報告されている。

25. 聴力検査では表33の如く、年齢が進むほど聴力低下者が多くなったが、全体の23%に見られ、性差は明らかではなかった。

26. 以上、第1報について、健康診断を受けにくような人の健康状態はどの程度なのか、という素朴な疑問を基本にして、昭和60年度青梅市健康センター人間ドックAコースの成績を、「全国成績」、「保健所ミニドック」、「青梅市健診」と比較しながら、報告しました。

人間ドックは、「疾患の早期発見すなわち二次予防から、健康増進、健康指導といった一次予防へと方向転換せざるを得ない」(昭和60年第26回日本人間ドック学会シン

ボジウム)と言われ、正しい生活指導により、脳卒中、心臓病の発生がかなり予防出来る可能性があると考えられています。

一方では、「健康指導は予想以上に効果が上がらないのが現実」(同前)とも言われ、又、前年の要精検者から、「毎年ドックに行っているから、お医者さんにかからなくてもよいと思っていた。」と言われてあわてたこともあります、諸先生の御指

とお力添えを戴いて、青梅市健康センターの目玉のひとつである人間ドックの役目を果してゆきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

青梅市健康センター長
青梅市立総合病院副院長

石井 好明

(青梅市健康センター人間ドック報告・第2報・付表)

表 13 受診者の職業

主婦	26%
専門的・技術的職業従事者	15
技能工・生産工程・労務作業従事者	15
無職	11
サービス職業従事者	10
事務的職業従事者	8
販売従事者	7
管理的職業従事者	4
運転通信作業従事者	2
農林業作業従事者	2

表 16 虫垂炎手術 (1)

	男	女	計
急性虫垂炎手術	11%	16%	13%
慢性虫垂炎手術	7	10	8
計	18	26	21

表 17 虫垂炎手術 (2)

手術を受けた年代	急性虫垂炎	慢性虫垂炎	計
昭和19年以前	10名	1名	11名
昭和20～29年	13	12	25
30～39	43	30	73
40～49	17	17	34
50～59	17	2	19
60～	1	0	1
計	101	62	163

表 14 花粉症の頻度

年齢	男	女	計
30才～	12%	27%	18%
40～	14	18	16
50～	5	14	11
60～	5	10	7
70～	0	7	2
計	9	17	13

表 15 花粉症初発年代

初発年代	男	女	計
昭和30～34年	0名	2名	2名
35～39	1	0	1
40～44	2	2	4
45～49	2	6	8
50～54	11	13	24
55～59	19	34	53
60～	1	4	5

表18 肺 X 線 所 見

年令	陳 旧 性 陰 影			要 精 檢		
	男	女	計	男	女	計
30才~	17%	11%	14%	1%	8%	4%
40 ~	21	17	19	13	4	9
50 ~	22	25	24	15	11	13
60 ~	34	37	35	13	11	12
70 ~	36	7	26	11	7	10
計	23	21	22	10	8	9

表19 眼 底 カ メ ラ 所 見

年令	K W - 0			K W - I			K W - II			K W - III		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
30才~	68%	67%	67%	32%	29%	31%	0%	5%	2%	0%	0%	0%
40 ~	64	57	61	34	42	38	2	1	1	0	0	0
50 ~	42	52	48	40	38	39	12	9	10	5	1	3
60 ~	21	24	23	48	59	54	24	16	20	4	2	3
70 ~	4	14	8	54	36	48	43	21	36	0	21	8
計	50	50	50	38	41	40	10	8	9	2	1	1

表20

血 圧

年令	最高血圧 151以上			最低血圧 91以上		
	男	女	計	男	女	計
30才~	1%	0%	1%	1%	0%	1%
40 ~	7	4	5	7	1	4
50 ~	14	13	14	18	5	10
60 ~	19	27	23	18	5	11
70 ~	43	29	38	0	14	5
計	11	11	11	9	3	6

表21

心電図異常

年令	男	女	計
30才~	7%	3%	5%
40 ~	7	3	5
50 ~	12	6	8
60 ~	21	11	16
70 ~	21	21	21
計	11	6	9

表22

腎 臓 関 係 検 査

年令	尿蛋白陽性			尿潜血陽性			尿沈渣異常			血中尿素窒素上昇		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
30才~	11%	6%	9%	4%	11%	7%	2%	2%	2%	1%	0%	1%
40 ~	12	5	9	2	9	5	0	3	1	6	1	4
50 ~	18	9	13	3	12	9	1	4	3	8	3	5
60 ~	15	11	13	11	18	14	3	3	3	5	3	4
70 ~	14	21	17	11	7	10	0	0	0	18	7	14
計	13	8	11	5	12	8	1	3	2	6	2	4

表 23 腎機能総合判定

判定 性別	A	BF	G
男 性	84%	9%	8%
女 性	87	6	7
計	85	8	7

表 26 肝機能総合判定

判定 性別	A	B	G
男 性	74%	3%	22%
女 性	71	9	19
計	73	6	21

表 24 上部消化管レントゲン検査

年齢	食道要精検			胃要精検			十二指腸要精検			十二指腸憩室		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
30才～	1%	0%	1%	11%	14%	12%	7%	2%	5%	1%	6%	3%
40～	0	0	0	17	17	17	5	1	3	5	9	7
50～	0	2	1	15	18	17	10	4	7	3	11	8
60～	2	2	2	13	18	15	7	0	3	10	17	14
70～	4	0	2	25	14	21	4	0	7	14	21	17
計	1	1	1	15	17	16	7	2	4	5	11	8

表 25 肝機能検査

年齢	ALP10.1以上			LDH451以上			GOT41以上			GPT36以上		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
30才～	6%	0%	4%	6%	3%	5%	4%	0%	4%	9%	3%	7%
40～	3	0	1	9	11	10	2	1	1	6	3	5
50～	1	5	4	12	28	22	4	1	2	5	3	4
60～	2	8	5	18	40	29	7	2	4	3	2	3
70～	0	7	2	29	14	24	7	0	5	7	0	5
計	3	3	3	12	20	16	4	1	2	6	2	4

表 27

血液学的検査(1)

年齢	ヘモグロビン男12 女11g/dl以下			ヘマトクリット 男37・女33以下			白血球 3,900以下			白血球 9,100以上		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
30才～	0%	9%	4%	0%	5%	2%	9%	8%	8%	3%	5%	4%
40～	0	7	3	1	6	3	6	13	9	5	3	4
50～	0	3	2	0	3	2	6	8	8	6	4	5
60～	3	0	2	3	0	2	13	10	11	5	3	4
70～	0	0	0	0	0	0	21	0	14	7	0	5
計	1	5	3	1	4	2	9	9	9	5	4	4

表28 血液学的検査(2)

年齢	MCV 88 μ^3 以下			MCH 28 Pg ¹ 以下			MCHC 30%以下		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
30才~	16%	33%	23%	4%	26%	13%	2%	15%	7%
40 ~	14	34	23	3	25	13	4	13	8
50 ~	9	27	20	3	17	12	4	5	5
60 ~	11	19	15	3	5	4	5	5	5
70 ~	7	14	10	4	7	5	0	7	2
計	13	28	20	3	19	11	3	9	6

表29 生化学検査

年齢	尿酸 8.1mg/dl以上			コレステロール 231mg/dl以上			中性脂肪 161mg/dl以上		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
30才~	2%	0%	1%	17%	6%	13%	23%	7%	16%
40 ~	3	0	2	12	10	11	21	4	13
50 ~	5	1	3	18	29	25	35	16	24
60 ~	2	2	2	16	37	26	23	18	20
70 ~	0	7	2	11	43	21	14	14	15
計	3	1	2	15	21	18	24	11	18

表30 血液型(1)

性別	A 型			O 型			B 型			A B 型		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人数	172	158	330	107	112	219	79	73	152	33	25	58
%	43	43	43	27	30	29	20	20	20	8	7	8

表31 血液型(2)

性別	Rh (+)			Rh (-)		
	男	女	計	男	女	計
人数	388	367	755	3	1	4
%	99.2	99.7	99.4	0.8	0.3	0.6

表32 血清学的検査

年齢	RAテスト陽性			CRP陽性		
	男	女	計	男	女	計
30才~	17%	20%	18%	4%	8%	5%
40 ~	9	15	12	7	3	5
50 ~	18	12	14	10	7	9
60 ~	19	18	18	16	5	10
70 ~	21	7	17	4	14	7
計	15	15	15	8	6	7

表33 聴力検査

年齢	聴力低下		
	男	女	計
30才~	4%	5%	4%
40 ~	12	6	9
50 ~	23	19	21
60 ~	63	51	57
70 ~	82	93	88
計	25	21	23

日本医学会総会雑感

松原貞一

総会は土・日・月と思っていたので、家庭医という立ち場上3日間の出席は無理としても、せめて2日位はと、

「4月4日(土曜日)は、医学会総会出席のため、休診致します。」

と早々に貼り紙を出していた。いつもギリギリにならぬと腰を上げぬ悪習慣が災いして、早く申し込んでいれば会費も安くなったのに、総会申し込みをしていなかったの、資料も手もとになかったのも悪かった。前夜になって慌てて日医雑誌を探し出し、日程表を眺めてみると、4日土曜日の講演は午後からということになっており、些かガッカリした。それなら、何も休診にする必要はなかったのにと、役職につき何かと諸事多忙となり、休診が多くとかく評判を落している昨今、我れながら行き当りはったりの無計画性を悔んでいたら、

「いいんじゃないの。貼り紙出していたら、患者さん達だってアータが学会に出席していることが知れるし、テレビ観て、ウチの先生も勉強して呉れていると、反って宣伝になるかもヨ。」

偕老同穴はよいが、朱に交われれば朱くなるとはよく言ったもので、同じ釜の飯を喰っている内にいつしか、家人も相等のワルに成長しているのを知り驚く。やがては此のワルに操られるようになるのではと、恐怖を覚えながらも、貼り紙や従業員の手前ブラブラ家にいるわけにも行かず、久し振り満員電車で揺られて、池袋はサンシャインの総合展示場へと出掛けてみた。

午前中は、新高輪ホテルで開会式が行なわれており、「現代医学の歴史的座標」も聞いてみたかったが、こちらは招待者だけということで、かって大阪の時、苦労して出掛けて行ったのに、門前払を喰った苦い経験がある。後日談であるが、大阪の時は若モノの造反があったりして警戒嚴重であっただけに、今年も招待状がなくても入れて呉れたヨという、

徳のご仁もいらっした。

前夜講演日程と睨み合い熟慮の末、本日土曜日の午後はホテル・パシフィック東京、白珠の間での「加齢と老化」を聞くことにする。我が行く末の参考にもなるのではないかと思つてのことであるが、さすれば他人も想いは同じ、会場は満席立ち聞きなどという事に相成っては大変と、サンシャインを適当に切り上げ、急ぎ品川へ馳けつけたのが11時半。ホテルの会場へ飛び込んでみたら、さすがにチト早すぎ、中はスライド係りとおぼしき人影がひとり二人のみ。取り合えず前から2列目の最高の場所にカバンを置き、再び品川駅付近に戻り昼食とする。1万5千人の医師が集っているだけあって、駅周辺はいつ方を見ても手型のカバンであふれていた。早朝より馳け廻っていた所為か、早や疲労困憊気味、アルコールの力でも借りなければ夕方まで持ちそうにないと、よせば良いのにビールのお代りまでする。時間もせまって来たので、最後のコップを呑み乾して会場へ行ってみると、つい先刻とはすっかり雰囲気が変わっており、さすがは人気演題会場は既に入口から人がはみ出して、場内は通路はもとより立錐の余地もない有り様。最前列近くにたどり着くまで、何人の靴を踏んづけて行ったことか。やっとの想いで、先刻置いたカバンの所に座り、やれ嬉しやとひと息ついていたら、サア大変、先刻の2本のビールの利尿効果が早くも現われ、冷や汗3斗の苦渋を味う結果となった。

再び外に出て用を済ませ、流れる汗を拭きふき出て来てみると、周囲は遅れて来入りきれない会員が半ば諦め顔でセルフサービスのお冷やなど呑んでいる。ロビーの椅子も早や満席の盛況。あたり見廻し改めて先輩、後輩ご同輩のお顔を眺めてみると、何やら雰囲気おも影に似通った所のあるのに驚く。背は高からず低からず少し小肥りのご様子、いかにも争い事を好まぬが如き中庸、中立、中流社

会人の典型といった風情、よく言えば好人物、悪く言えば苦勞知らず、子供のまゝ大人になり、育ち切っていないという感じがしないでもない。過日大塚副会長にその話をしたら、同じような感想であり、この業界も没落の一途とは言え、未だ追いつめられたる印象はなく、落日の名残り今しばしと言う所かも知れない。再び手洗いに行き、鏡にうつりし己が姿にその典型の典型を見つけ、肩より力の抜ける思いであった。まこと職業は人の顔を作るようである。

2日間の講演を聞いて感じたことは、ひとつには略語が多すぎてチンプンカンプン、ふたつには、これからはチョットヤソットのスペシャリストでは物の役に立たなくなり、世はまさにスーパー・スペシャリストの時代になって来ているということであった。交通機関の発達もあってか、患者は中途半端な専門医を跳び越えて、スーパー・スペシャリスト

の所へ集って行く。その反面また全人的な把み方が可能なのは我々開業医にしか望めず、我々家庭医がこれらスーパー・スペシャリストと組んで車の両輪となれば、医療は一層充実したものとなるのではあるまいか。更にはプライマリー・ケアのスーパー・スペシャリストとなることこそ、我々開業医の生き残る道ではなからうか。

そういえば、居ました、居ました、スーパー、ヤングのスーパー美人がひとり。矢張り手型のカバンを持っている所から、新卒のホヤホヤの女医さんかも知れず、何気なく寄りそってみたら香りもさわやか。この腰が抜けんばかりのスーパー美人を見ることが出来ただけで、学会講演はとまれ三万円は高くなかったと冗談をいったら、

「アータ、何しに学会へ行ったの。」と目を三角、そう言えば此の頃家人が女であることをすっかり忘れていた。

文 芸

環 境 論 の 汚 染 を 超 え て 長 引 く 口 惜 し ら	水 俣 病 遂 に 勝 訴 す 胸 撫 で お ろ す	思 ひ 出 は 走 馬 燈 の 如 く 脳 裏 を 掠 す む	薄 紅 の 五 つ の 蕾 ふ く ら み て 見 ゆ	移 し 植 え て 賜 ひ し 人 も 既 に こ の 花 四 十 余 年	患 家 よ り 庭 賑 は せ し も 枝 枯 れ 目 立 と り	小 鳥 ら の 悠 長 に 啼 く り 心 な ご む か 長 閑 か し く	遠 見 に は 春 の 明 る さ い や ま さ り た り	春 霞 真 白 き は だ ら て 山 桜 か も	春 霞 み 小 泉 新 策
---	--	--	--	---	---	--	--	---	---------------------------------

公立阿伎留病院外来部門診療日程表

昭和 62. 4. 1 現在

	月	火	水	木	金	土
内科	平沼・吉田 内視鏡： 佐藤(義)	松井・佐藤(義)	坂元・西成田	平沼・高村 レ線： 吉田・江本	佐藤(義)・江本 レ線：高村	坂元・松井 内視鏡： 佐藤(義)
		呼吸器 (平沼)	血液、膠原病 (西成田)	循環器 (坂元)	糖尿病 (高村)	
小児科	村上・岩瀬	正木・岩瀬 脳波・麻疹	正木・岩瀬 乳児検診	正木・岩瀬	正木・村上 脳波・血液	正木・岩瀬
外科	菅井・朝倉 レ線：佐藤(徳)	浅野 超音波：菅井	菅井 レ線：朝倉	佐藤(徳)	菅井 超音波： 佐藤(徳)	浅野 レ線：朝倉
	脳外	本間		小柏		横田
整外	板垣・今村	板垣・今村	今村	板垣	板垣・今村	板垣・今村
眼科	馬話・山本	松田(手術) コンタクト点検	馬話・山本	松田(手術) 螢光眼底造影	馬話・山本	馬話・山本
	耳鼻科	松田・岩崎 アレルギー外来	松田・奈良 聴検	松田・岩崎	松田・岩崎	岩崎 聴検
皮膚科		小林	田中		甲原	
産婦人科	岩井・松田	松田	岩井・渡辺	岩井・松田	岩井・松田	岩井・松田
放射線科 (CT)			体部：浅野	体部：浅野		
	頭部	体部：浅野	頭部	頭部	頭部	

* 各科下段は午後診療・午後診療及びCT・レ線・超音波検査は予約を要す。

福生病院

外来診療表

昭和 62 年 3 月 1 日現在

科別	曜日	月	火	水	木	金	土
内科	午前	井 小 金 沢 林	大 島 佐 久 田 藤 保 田 患	小 林 (関 岨 本 神経内科)	島 田 金 (腎 疾患)	井 岨 佐 沢 (神 経内科) 藤	大 久 保
	午後	慢性疾患 ・健康診断 大久保	呼吸器 白 田 小 林			神経科 江 本	
(特別担当医)		大久保	岨	金	佐藤	島田	
(透 析)	午前 島田・大久保 午後 金	午前 島田・小林 午後	午前 島田・井沢 午後 佐藤	午前 島田・大久保 午後	午前 島田・金 午後 岨	午前 島田・玉井	
外科		辛	消化器 諸 角	辛	消化器 諸 角	消化器 諸 角	血管外科 岩 田
(内 視 鏡)			岩 田		諸 角	諸 角	岩 田
泌尿器科		平 野	玉 井	玉 井		玉 井	玉 井

科別	曜日	月	火	水	木	金	土
整形外科		柴崎	星野	柴崎	馬場	星野	第1.3.5 真栄城 第2.4. 上田
皮膚科		大場	大場	杏林大学	大場	杏林大学	大場
眼科		押切	鈴木	押切	鈴木	押切	第2.4. 押切 第1.3. 鈴木
耳鼻咽喉科		多賀谷 難聴 大和田教授	富田教授 多賀谷 野沢	多賀谷 難聴 大和田教授	里村	多賀谷 難聴 大和田教授	多賀谷
小児科	午前	心臓 田口	斉藤	青山	斉藤	新生児 川瀬	青山
	午後	予防注射 青山	腎炎 第四 本田		乳児検診 第二は腎炎 本田		
婦人科		鈴木	白土	正木	杏林大学	鈴木	白土
歯科		林	曾	曾	曾	曾	曾

※ 内科の土曜日の診療は 第1週 岨、第2週島田、第3週小林、第4週 金、第5週佐藤。

阿伎留・青梅・福生・公立三病院の
外来部門診療日程表の送付について

昭和61年12月5日(金)三公立病院各科部長と医師会役員・会員との懇談会の席上Aグループ(A会員)よりの要望事項の一つである「外来の専門の先生の診療日を教えて貰いたい。」に対して、大塚生涯教育準備委員会会長・石井青梅市立総合病院副院長のご尽力と三公立病院の担当の先生方のご好意により標記の日程表が整いましたので、ご送付申し上げます。

……病院の……先生にお願いしたらよいかなあ。……先生の診察日は何曜日かなあと思索することがございませんか。そんな時、ご覧になって下さい。きっとお役に立つと存じます。

どうか三公立病院の先生方と昵懇になって、患者さんを紹介、安心して診療が受けられるように……。又、三者共々感謝し合えるように。有効にご活用下さることを切望してやみません。

尚、(1) 早期に送付する予定でしたが、4

月より外来担当の編成替があることがわかっておりましたので、決定してからの方がよいと思ひ遅延した次第です。ご了承下さい。

(2) 病診連携の一助となれば幸いです。

(3) 会報1月号 169号10~12頁参照。

(塩澤 永康)

お 知 ら せ	
正 午 迄	六月の保険提出日 六月八日(月)

一般外来診察分担表(午前)

昭和62年 月 日現在

診療科	月	火	水	木	金	土	備考
内科	坂本	柏木	桜井	坂本	桜井	交代	循環器 坂本 呼吸器 里田 消化器科 花井 血液 掛持 腎臓 山林 消化器科 船越
	柏木	岡田	川良	柏木	栗山		
	岡田	室田	木本	岡田	室田		
	栗山	上阪	黒沢	黒沢	武井		
	佐藤			武井	梶浦		
放射線科 333	(甲斐原)	甲斐原	(甲斐原)	甲斐原		(甲斐原)	
外科 330	石井	広瀬	山田	宇田	石井	交代 広瀬 山田	胸部外科 宇田・森田
	宇田	山川	海老原	森田	山田		
脳神経外科 329	鬼頭	宮崎	折田 区外 区外 区外	鬼頭	宮崎	森(交代/回)	
整形外科 328	渡部 加藤 飯田	飯田 渡部 飯田	渡部	渡部 加藤 飯田	加藤	渡部 加藤 飯田	
	加藤 飯田		加藤 飯田	加藤 飯田	加藤 飯田	加藤 飯田	
産婦人科 325 326	妊婦	高野	加木田	松永	富永	三島	交代 林
	婦人科	内田	富永	内田	高野	高野	
		富永	松永	林	林	松永	
		木田	木田	木田	木田	林	
		三島柳沢	三島柳沢	三島	三島柳沢		
皮膚科 355	船曳	船曳	船曳	船曳	斎藤	船曳	
泌尿器科 351	友石	山本	平沢	友石	足立	交代	
小児科 327	林	林	林	於保	林	交代	
	於保	於保	崔	川木	川木		
	川木	奥山	奥山	崔	奥山		
	崔						
眼科 353	都築		登田		矢野		
耳鼻咽喉科 352	内山	内山	内山	内山	村主	内山	
神経科 354	杉本	山本中野	杉本	山本	久保	中野	交代
	中野(姓)	久保(姓)	山本(姓)	久保(姓)	中野(姓)		
理学診療科 219	鈴木	鈴木	鈴木		鈴木	鈴木	
口腔外科 350		小沢(交代)		高久		島田	

専門外来分担表 (午後)

青梅市立総合病院

診療科	月	火	水	木	金	担当医師
内科		リウマチ ・膠原病	リウマチ ・膠原病 心臓			桜井 坂本
外科		大腸肛門				広瀬
胸部外科		乳 腺				宇田
整形外科	股関節・形成 (脊椎・神経・腰痛) 月に1回～2回					
産婦人科	不妊					林・富永
小児科	内分泌 (第3のみ)	心 理	心臓 (第4のみ)			他に神経 腎臓アレルギー (常勤医) 未熟児
	心臓 (第2のみ)	神経 (第3のみ)				
眼 科						
耳鼻咽喉科					めまい	村主

◎ 専門外来の診療受付は、担当の外来へ問い合わせてください。

外来診察の受付時間 (日曜・祝日は休診)

平 日	午前8時30分 ～ 午前11時30分
土 曜 日	午前8時30分 ～ 午前11時00分

◎ 昭和62年4月から、消化器科が新設される予定です。

5月15日 学術講演会

[骨粗鬆症について]

近年我が国に於ては、平均寿命の延長もめざましく、それに伴って各方面で老人対策という問題が大きくクローズアップされて来ている。

医学界に於ても大きな課題となって来ており、各分野で諸先生の御活躍が続けられていることはすでに御承知の通りがある。

整形外科領域に於ては最も重要なもののひとつとして骨粗鬆症を中心に検討を加えてみ

たい。

診断についてはX線診断を中心とし、治療については薬剤の選択における考え方等につき、自分の経験を振り返りながらお示しして御検討を頂きたい。

東京都立 駒込病院

副院長 東 晃

連絡会

- 4月22日 都医代議員会
24日 都医地区医師会長協議会
" 三多摩医師会長協議会

会員通知

- 東京都医師会学術講演会案内
- 62年春のスギ花粉飛散予測について
- 国保被保険者証の記号・番号の更新について
- 福生保健所駐車場の利用について
- 青梅市立総合病院宿日直表
- 東京都の特別区市町村及び国保組合の被保険者証の更新について
- 東京都リハビリテーション医師研究会の実施について
- 成人病検診従事者指導講習会の開催について
- 税務講習会報告
- 学術勉強会案内
- 会員名簿の作成についておねがい
- 点数表選択届の提出について

- 学術勉強会案内
- 「胃検診委員会総会報告」
- 62年度生涯教育の本制度他について
- 青梅市立総合病院宿日直表
- 会報臨時号
- 61年度定時総会案内
- 医療用具及び体外診断薬に係る保険導入ルールの取扱い等について
- S62年4月から～9月に係る社保診療報酬支払日について
- 保険給付と重複する保険外負担の是正について
- 性病患者届出票の提出について
- 会報
- 61年度西多摩医師政治連盟総会報告
- 学術講演会
- 医療機関におけるAIDS感染の防止について
- 国鉄共済組合の日本鉄道共済組合への移行に伴う組合員証等の更新について
- 青梅市立総合病院宿日直表
- 学術研究会
- 第19回産業医講習会の開催について

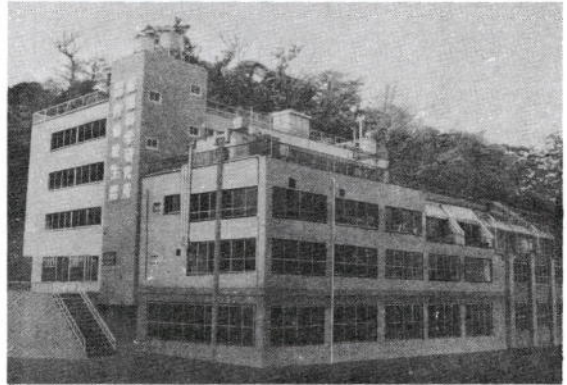
あ と が き

今年も早や5月、この間まで雪が積っていたと思ったら花見も終り新緑の季節である。都心とちがい20分も車で走れば数百メートル級の山に行けるのは西多摩に来て良かったと思う点の一つである。特に刈寄山の林道を通り山頂まで行くコースと、神戸岩より天地山山頂近くを通り奥多摩町に出る林道は、休日の2～3時間コースとして新緑の時期には一度は行かないでは気がすまない道である。それに比較し都内には全く魅力を感じない。都内に行く用事が出来るとなんとなく暗い気持ちになってしまう。どうしてそんなに魅力も

ないのに一坪数千万もするようになったのか、不思議である。先日友人から六本木のアークヒルズというマンションに引越しをしたとの電話で家賃180万円(月額)入居時家賃6ヶ月分と言い放った。どこかが狂っているとしか思われない。昔はそれこそ新興の色街として出来た赤坂周辺が常識では考えられない地価高騰を仕組んだのはいったいだれか。いまのままでは都区部には一戸建ては存在しえないようになるだろう。都心はますますコンクリートとガラスで出来た無味乾燥な地区とになってしまう。 担当 渡辺

臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106
電話 045 (333) 1661 (大代表)
八王子市子安町3-17
電話 0426 (26) 2203・2204



- 総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
 - 完全オンラインシステム化を実現致しました。(データー通信システム)
 - 関係医療機関 約 3,500ヶ所
 - 広範囲な検査内容
 - 内分秘学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
 - 病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査
- ！都川県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致しています。

くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



埼玉銀行

青梅支店 (TEL 0428-22-1101)
東青梅支店 (TEL 0428-22-2121)
青梅支店 (TEL 0428-83-2515)
奥多摩特別出張所

福生支店 (TEL 0425-51-1021)
村山支店 (TEL 0425-61-1211)
五日市支店 (TEL 0425-95-1311)
河辺支店 (TEL 0428-24-2401)
秋川支店 (TEL 0425-58-2611)